

<<< フレキシ・スイッチング >>>

この製品にはフレキシ・スイッチ (Flexi-Switch®) 機能が搭載されています。電子リレー方式のツールパイパスで、踏み方の違いによって通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ (アンラッチ式) としても使用可能です。

- ・ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにしたい時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- ・モーメンタリー方式のスイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

<<< 製品仕様 >>>

消費電流: 26 mA

この製品は9V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用できます。デジージェインやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨していません。また故障の原因になりますので9Vを超える電源は使用しないでください!

<<< 製品仕様 >>>

入力インピーダンス: 1 MOhm

出力インピーダンス: <1 kOhm

本体サイズ: 14.351cm x 12.065cm x 5.715cm

<<< 付属品 >>>

取扱説明書×1
保証書×1
安全上のご注意×1

製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL: 0570-056-808 (ナビダイヤル) または 053-533-5003
URL: <https://jpyamaha.com/support/>
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL: 0570-012-808 (ナビダイヤル) または 053-460-4830

輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL: 03-5488-5445



www.earthquakerdevices.jp
©2020 EarthQuaker Devices LLC

Data Corrupter®



説明書

このたびはアースクエイカーデバイスのデータコラプター、モジュレーション付きモノフォニックPLLハーモナイザーを購入して頂きありがとうございます!ご使用の際はこの説明書を読んで頂けると音決めの際のノブのセッティング等、素早く対応できると思いますので是非お読みください。

データコラプターはモノフォニックのアナログPLLハーモナイザーにモジュレーションを加えたペダルです。入力された信号は凶暴なまでに増幅され、過激なスクエアウェーブのファズに変換されます!その後さらに複数の信号に振り分けられ、モジュレーションを含め個別にコントロールでき、ワイルドながらも直感的に操作できる3ボイスのギターシンセサイザーです。

Master Oscillator (1) (マスターオシレーター) がデータコラプターをコントロールする際の中心部になります。**Master Oscillator**の**Root (2)**ノブからオリジナルの信号(Unison)、1オクターブダウン(-1)、2オクターブダウン(-2)、3種類の信号を選択できます。この部分を使ってご使用中の楽器に合わせたフリークエンシーに最大限に対応するトラッキングの反応を調整できます。**Root**の設定が済んだら、もう一つのロータリースイッチノブでOctave (オクターブ) とInterval (音程) の設定を行います。

本体上部の**Voice Mixer (3)**部に有る**Oscillator**ノブで**Master Oscillator**部の音の混ざり具合を調整します。

Frequency Modulator (4) (フリークエンシーモジュレーター) は**Master Oscillator**部にピッチバンドを加えます。その際**Glide**モード (ノート間の移動がスムーズになります。バイオリン等のフレットレスの楽器で指板上で音程を動かす様な事です) か**Vibrato**モード (ピッチの上下移動が飛び跳ねる様な感じで、昔のSF映画のレーザー光線の効果音の様なエフェクト効果) の2種を選択できます。

Subharmonic (5) (サブハーモニック) で入力された信号に1オクターブ下から3オクターブ下まで、8種類から選択し加える事ができます。安定したオクターブ下の信号を加えたい時は**Subharmonic**の**Root**を**Unison**に設定しますと、入力段から**Frequency Modulator**がキャンセルされます。

ですが! データーコラプターの真骨頂を体験するならば、**Subharmonic**の**Root**スイッチを**Oscillator**に設定してください。沢山の選択肢の有るオクターブやモジュレーション等の組み合わせをランダムに試したり、ペダル上の機能をフルに利用して今までに体験した事の無い、ウイルスに侵されたコンピューターが発する様な狂ったサウンドを思う存分楽しんで頂けるとと思います!この**Subharmonic**部の音の混ざり具合の調整は、本体上部の**Subharmonic**で行えます。

最後に、本体上部の**Voice Mixer**部に有る**Square (6)**で原音からスクエアウェーブに変換されたファズの量の調整を行います。

Tracking

データコラプターを使用の際は、ディレイ、リバーブ、他のモジュレーション系のペダルの前で行えるだけ接続された楽器のアウトプットに近い位置に接続してください。ギターで使用の場合、通常どのピックアップでも使用可能ですが、ネックピックアップでの使用で最良の結果が得られます。単音を正確にピッキングして頂くと素早く、クリアなトラッキングで出力できます。トラッキングの正確さを追求するため敢えてゲインの設定はできない様になっておりますので、使用中の楽器の出力が弱い場合は(ギター側のボリュームを絞った状態等)トラッキングが正確に行われない場合があります。

Nerd Talk

Data Corrupterの心臓部はCMOS Phase Locked Loop (PLL) ICが元になっております。PLLが入力された信号の位相と帯域をオシレーターと対比させ、その違いを信号として生み出し、さらにオシレーターの入力段に戻す事によって、元の入力された信号と対比された信号が混ざりシンセの様な音に生まれ変わります。

Design Notes

この商品はRay Marston (レイマーストン) のthe Elextrax SynthaxとBasic Frequency Synthesizerからの影響から始まりました。元々どちらもギター用のペダルとして機能する様にデザインされておりませんでした。トラッキングと長いサステインを得る為にData Corrupterの開発に長い時間を費やしました。どのPLL系のシンセサイザーよりも使いやすく、表現豊かな物になっていると思います。

<<< コントロール >>>



<<< Tracking >>>

データコラプターを使用の際は、ディレイ、リバーブ、他のモジュレーション系のペダルの前で行えるだけ接続された楽器のアウトプットに近い位置に接続してください。ギターで使用の場合、通常どのピックアップでも使用可能ですが、ネックピックアップでの使用で最良の結果が得られます。単音を正確にピッキングして頂くと素早く、クリアなトラッキングで出力できます。トラッキングの正確さを追求するため敢えてゲインの設定はできない様になっておりますので、使用中の楽器の出力が弱い場合は(ギター側のボリュームを絞った状態等)トラッキングが正確に行われない場合があります。